

ゆき市 議会だより

Yukicity council information

第201号

令和元年5月1日

空き家対策を推進していくため
空き家対策関連条例を可決



改選前の2月27日に撮影したものです。



改選前の2月27日に撮影したものです。



いきいき茨城ゆめ国体大会2019

空き家対策を推進していくため 空き家対策関連条例を可決

第1回定例会 ▼ 会期20日間

2月27日～3月18日

市長提出案件 40件(すべて原案のとおり可決)
議員提出案件 1件

●議案第1号 平成30年度結城市一般会計補正予算(第3号)

PICKUP

平成30年度結城市一般会
計予算に3億2,040万
円を追加しました。

この補正予算では、主に中学校にエアコンを追加設置したり、先進的な農業経営の確立に意欲的な担い手に対し、必要な農業用機械の導入に要する経費の助成などを行います。

こんな質疑がありました

Q 担い手確保・経営強化支援事業補助金2,264万8千円が計上されていますが、その内容について伺います。

A 本事業は、国の第2次補正予算の新規事業です。付加価値額の拡大など先進的な農業経営の確立に取り組む担い手が融資を活用して農業機械や施設を導入する際に融資残について補助金を交付するものです。

Q 中学校空調設備整備工事1,000万円はこの中学校で何台分のエアコンの設置費用なのか伺います。

A 市内すべての中学校が対象です。学校ごとの追加の台数は、結城中学校が16台、結城南中学校が5台、結城東中学校が6台の合計27台です。

●議案第22号 結城市空き家等の適正管理に関する条例の全部を改正する条例について

PICKUP

空き家対策を推進します。

管理不全な状態が続く空家に対する措置、空家等対策計画の策定、空家等対策協議会の設置、緊急安全措置等、空家対策を講じていくため、条例を改正したものです。



人事案件

以下の方の選任について同意

監査委員 廣江 敏男氏
教育委員 赤木 信之氏

以下の方の諮問について同意

人権擁護委員 山本 道夫氏

請願

後期高齢者の医療費自己負担2割への引き上げに反対する請願

(不採択)

第1回定例会 議決結果

議案	議決結果	大里克友	土田構治	會澤久男	湯本文夫	大橋康則	佐藤仁	平陽子	安藤泰正	黒川充夫	早瀬悦弘	稲葉里子	大木作次	秋元昇	金子健二	中田松雄	船橋清	孝井恒一	平塚明
議案第1号～議案第9号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○
議案第10号, 議案第11号	原案可決	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○
議案第12号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○
議案第13号	原案可決	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○
議案第14号～議案第35号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○
選任第1号, 選任第2号	選任可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○
諮問第1号	諮問可決	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○
請願第1号	請願不採択	●	●	○	○	●	●	○	○	●	●	○	○	-	●	●	●	●	○
議案第36号	原案可決	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○
議案第37号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○

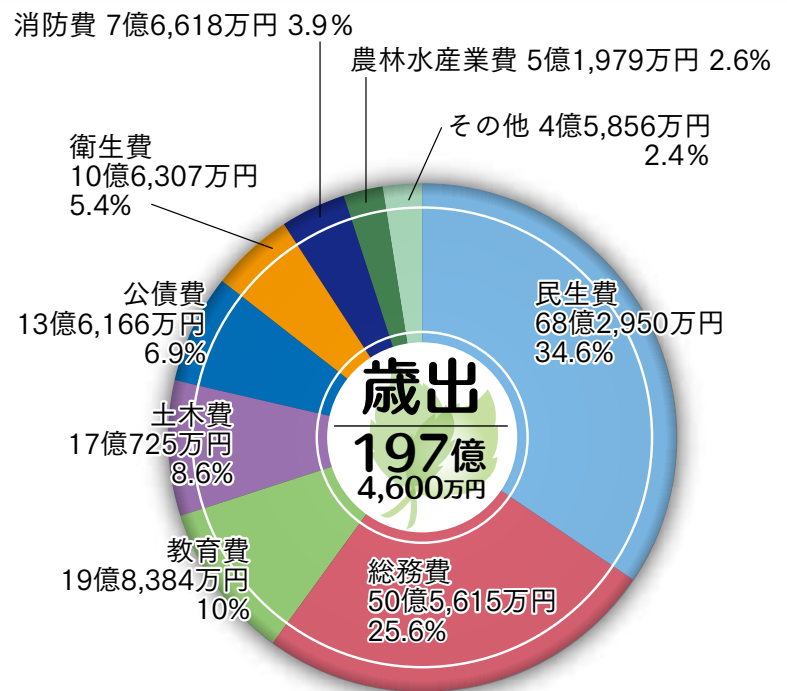
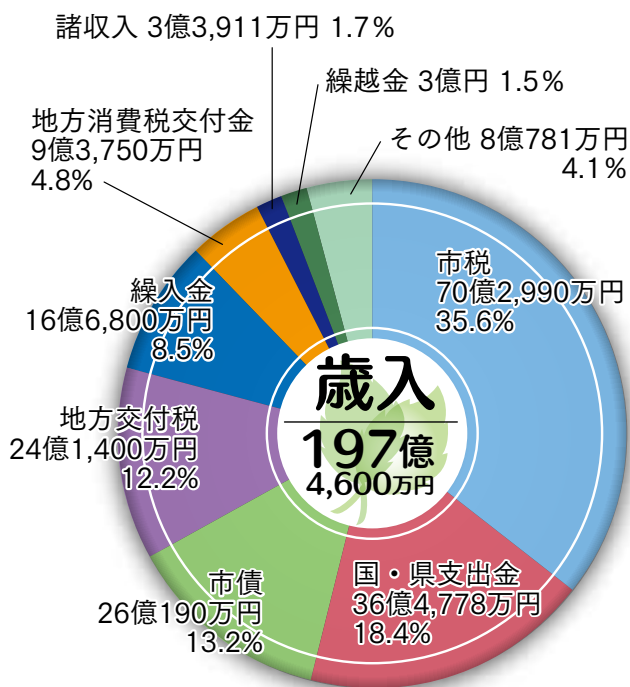
※○は賛成 ●は反対 ☆議長 秋元昇は採決には加わらない

件名	内容
議案第1号 平成30年度結城市一般会計補正予算(第3号)	主に、財政調整基金及び減債基金への積立を行う基金積立金の増額等により、歳入歳出それぞれ3億2,040万円を増額するもの
議案第2号 平成30年度結城市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	主に、国民健康保険支払準備基金への積立を行うための基金積立金の増額等により、歳入歳出それぞれ6,822万余円を増額するもの
議案第3号 平成30年度結城市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	主に、職員等人件費の増額等により、歳入歳出それぞれ5万円を増額するもの
議案第4号 平成30年度結城市介護保険特別会計補正予算(第2号)	主に、介護給付費準備基金へ積立を行うための基金積立金の増額等により、歳入歳出それぞれ9,878万余円を増額するもの
議案第5号 平成30年度下館・結城都市計画事業結城南部第二土地区画整理事業特別会計補正予算(第2号)	主に、社会資本整備総合交付金の内示に伴う土地区画整理事業費の減額等により、歳入歳出それぞれ543万余円を減額するもの
議案第6号 平成30年度下館・結城都市計画事業結城南部第三土地区画整理事業特別会計補正予算(第2号)	主に、下水道新設工事負担金の減額に伴う土地区画整理事業費の減額等により、歳入歳出それぞれ152万余円を減額するもの
議案第7号 平成30年度結城市公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)	主に、施設電気料の不足に伴う施設管理経費の増額等により、歳入歳出それぞれ101万余円を増額するもの
議案第8号 平成30年度結城市農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)	主に、消費税の中間申告納入に伴う管理事務経費の増額等により、歳入歳出それぞれ105万余円を増額するもの
議案第9号 平成30年度結城市水道事業会計補正予算(第3号)	主に、水道事業費用について納付すべき消費税が増額となったことによる営業外費用の増額等をするもの
議案第10号 平成31年度結城市一般会計予算	5Pに記載
議案第11号 平成31年度結城市国民健康保険特別会計予算	平成31年度当初予算を歳入歳出それぞれ55億140万円と定めるもの(昨年度比6.7%の減)
議案第12号 平成31年度結城市後期高齢者医療特別会計予算	平成31年度当初予算を歳入歳出それぞれ5億7,400万円と定めるもの(昨年度比4.6%の増)
議案第13号 平成31年度結城市介護保険特別会計予算	介護保険事業勘定の平成31年度当初予算を歳入歳出それぞれ37億1,700万円と定めるもの(昨年度比1.4%の減) 介護サービス事業勘定の平成31年度当初予算を歳入歳出それぞれ2,180万円と定めるもの(昨年度比13.8%の減)
議案第14号 平成31年度下館・結城都市計画事業結城南部第二土地区画整理事業特別会計予算	平成31年度当初予算を歳入歳出それぞれ1億2,070万円と定めるもの(昨年度比13.4%の減)
議案第15号 平成31年度下館・結城都市計画事業結城南部第三土地区画整理事業特別会計予算	平成31年度当初予算を歳入歳出それぞれ8,270万円と定めるもの(昨年度比3.4%の減)
議案第16号 平成31年度結城市公共下水道事業特別会計予算	平成31年度当初予算を歳入歳出それぞれ14億6,560万円と定めるもの(昨年度比8.9%の減)

件 名		内 容
議案第17号	平成31年度結城市農業集落排水事業特別会計予算	平成31年度当初予算を歳入歳出それぞれ1億2,040万円と定めるもの（昨年度比3.8%の増）
議案第18号	平成31年度結城市住宅資金等貸付事業特別会計予算	平成31年度当初予算を歳入歳出それぞれ133万6千円と定めるもの（昨年度比25.9%の減）
議案第19号	平成31年度結城市水道事業会計予算	平成31年度当初予算を収益的収支、資本的収支合わせて、18億6,185万余円と定めるもの（前年度比3.9%の減）
議案第20号	結城市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	主に、産業医の対応すべき業務が増加していることから、報酬の月額を2万円から4万円に引き上げるもの
議案第21号	結城市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例について	平成30年8月10日に出された人事院勧告等に伴い、関係する条例の一部を改正するもの
議案第22号	結城市空き家等の適正管理に関する条例の全部を改正する条例について	2Pに記載
議案第23号	結城市債権管理条例について	税以外の市の債権について、強制的に徴収できる債権は、滞納や処分等の状況を部署間で共有できる規定を、強制徴収できない債権は、徴収停止や債権放棄の規定等をそれぞれ整備するもの
議案第24号	結城蔵美術館の設置及び管理に関する条例について	結城蔵美術館について、設置目的に応じた効率的な運用を図るため、必要な事項を定めるもの
議案第25号	下館・結城都市計画結城第一工業団地上山川北部地区地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例について	地区内において、建築物等の用途、建築物の敷地面積、壁面の位置等の規制、既存の建築物に対する制限の緩和及び罰則について規定するもの
議案第26号	結城市特別会計条例の一部を改正する条例について	結城市公共用地先行取得事業特別会計及び下館・結城都市計画事業結城南部第四土地区画整理事業特別会計を廃止するもの
議案第27号	結城市水洗便所改造資金貸付基金の設置及び管理に関する条例を廃止する条例について	当該基金は、近年利用者がなく公共下水道接続支援事業補助金等により水洗化の促進が図られていることから、条例を廃止するもの
議案第28号	結城市水道事業の布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部を改正する条例について	専門職業人の養成を目的とする新たな高等教育機関として、専門職大学の制度を設けることとされたため、所要の改正を行うもの
議案第29号	結城市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例について	災害援助資金の貸付けについて、保証人を立てた上で無利子にするほか、償還方法に月賦償還を加えるもの
議案第30号	結城市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	放課後児童支援員の資格要件に、学校教育法の改正により新設された専門職大学の前期課程の修了者を加えるもの
議案第31号	結城市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	共生型サービスが創設されたことに伴い、共生型地域密着型通所介護に関する基準を定めるもの
議案第32号	結城市医療福祉費支給に関する条例の一部を改正する条例について	医療福祉費支給制度の対象として、新たに精神障害者保健福祉手帳1級所持者を加えるため、当該条例の一部を改正するもの
議案第33号	市道路線の認定について	市道1468号線を逆井調整池周辺道路の整備のため、市道として新たに認定するもの
議案第34号	市道路線の廃止について	市道0138号線小森・本町線について、道路形態を有しないことから、認定を廃止するもの 市道1071号線及び市道1072号線について、逆井調整池の整備に伴い、整備区域内の認定を廃止するもの
議案第35号	市道路線の変更について	市道0104号線白銀町・大谷瀬線、市道0136号線四ツ京・福良橋線及び市道0137号線下り松・四ツ京線について、都市計画道路の計画変更に伴い、認定の一部を変更するもの
選任第1号	結城市監査委員の選任について	2Pに記載
選任第2号	結城市教育委員会の委員の選任について	2Pに記載
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦について	2Pに記載
請願第1号	後期高齢者の医療費自己負担2割への引き上げに反対する請願	2Pに記載
議案第36号	平成30年度結城市一般会計補正予算（第4号）	主に、国の全額補助によるプレミアム付商品券の販売を行うプレミアム付商品券事業費の増額等により、歳入歳出それぞれ205万円を増額するもの
議案第37号	筑西広域市町村圏事務組合規約の変更について	当該事務組合の事業のうち終了する事業、運営主体の変更をする事業があることから、規約の一部を変更するもの

平成31年度一般会計 予算の概要

～ 一般会計総額197億4,600万円 前年度比16.9%の増 ～



国・県支出金…国や県からの補助金等
地方交付税……自治体の格差をなくすための
お金
市債……………国などから借りるお金

民生費…福祉事業等にかかるお金
総務費…庁舎の建設や市政運営にかかるお金
教育費…学校の維持管理や給食等にかかるお金
土木費…道路や河川の維持管理にかかるお金

議 会 注 目 事 業

結城蔵美館5周年記念事業



本市の文化振興や観光集客の向上及び地域経済の活性化の役割を担う結城蔵美館が開館5周年を迎えるにあたり記念事業を行う。

東京オリンピック 空手競技事前キャンプ事業



東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、カザフスタン共和国空手連盟による事前キャンプの実施をはじめとする関連事業等を実行委員会を通して推進し、スポーツ振興・地域活性化を図る。

シルクロードからの分庁舎撤退は

新庁舎移転まで分庁舎機能を維持していく

駅前分庁舎について

告がございました。

万円程度の経費を支出しております。

問 コモディイダは、平成36年まで20年間賃借契約を結んでいましたが、撤退をする経緯について伺います。

問 駅前分庁舎に投入した経費について伺います。

市長公室長 シルクロードと各出店者との契約によるものですので、直接的な連絡等はないと思いますが、平成30年10月18日、市長に対し、シルクロードより、30年の9月中旬に店舗撤退に関する打診があり、慰留に努めたが、3月末に撤退する旨の報告がございました。

市長公室長 取得経費といたしまして、89,288,900円でございます。その他に、改修工事や電話やインターネット回線、各種電気工事などの整備経費が50,889,113円、設備機器等の修繕経費が4,681,835円でございます。また、維持管理経費につきましては、共益費等を含め、年間約2千

問 市が3階部分と土地の一部を取得し、30年の定期借地権がついているので、今後この施設から逃げられない契約になっているのかという不安があります。撤退について伺います。

市長公室長 駅前分庁舎の所有権を補完すること

を目的として、土地の賃貸借契約を結んでおります。期間は、30年間でございまして、借地権の譲

渡、転貸や土地及び建物の譲渡の際には協議のうえ、承諾を得る必要がございます。

現状におきましては、新庁舎への移転までの間、分庁舎機能を維持し、その後の運用に関しては、跡地利用の検討の中で方針を定めたいと考えております。

問 駅前分庁舎購入における付帯決議の遵守について伺います。

市長公室長 付帯決議では、「今後、いかなる事

由が発生しても、1階及び2階は購入しないことを確約すること、納税については、滞納がないよう確約を得ること、3階フロアーを購入すること」

の大きく3点が示されており、十分に尊重した対応を行う方針でございます。

また、懸念されている

一民間事業者への支援に関しまして、市民や市議会にご理解を得られる明確な理由、根拠のない支援等を行わないものとして認識しておりますので、支援等を検討すると



おおさと かつとも
大里克友 議員

コモディイダさん15年間ありがとうございました。



▶ 駅前商業施設

いったことは考えておりません。

まち・ひと・しごと 創生総合戦略の進捗 について

問 まち・ひと・しごと
創生総合戦略（地方創
生）は市民と共に進めな
ければ成し遂げられない
事業にも関わらず、まだ
市民にはなじまない事業
であり周知もされていな
い。1741の自治体が
競って地域活性化に力を
注いでいる現状の中で本
市の体制は出来ているの
か。

市長公室長 総合戦略に

については、事業者や市民
の皆様と一体となった協
働体制で実施、推進し、
課題の解決を図っていく
ことが重要であると考え
ており、今後も今まで以
上に議会や市民の皆様方
との協働体制で事業を実
施していきたい。



大地震への体制を整え 自主防災組織結成への 支援を！

大規模地震の備えに ついて

問 近い将来において大
地震の起こる可能性が極
めて高いという様々な想
定が行われている昨今、
本市はその予防や備えへ
の体制は十分であるのか。

市民生活部長 防災行政
無線を3箇年で市内全域
に整備し、平成29年度か
ら本格運用を開始してお
ります。防災行政無線も
活用した訓練を行うこと
もに、避難行動、避難所
運営に関する訓練におい

て新たな試みも実施した
ところでございます。

備蓄品も地域防災計画
の見直しの中で検討し、
多様な避難者ニーズに対
応できるような避難所の
整備・充実を検討してい
く。また、40人の結城市
地域防災協力員を委嘱し、
消防本部OBを嘱託職員
として配置するなど体制
の強化を図っていく。

市長 新庁舎建設による
防災拠点の整備といった
ハード面の対策と併せて、
自主防災組織の結成、リ
ーダーとなる人材育成を

推進していく。



以上2件の質問の他に、
インバウンドの推進につ
いて問い、増加する訪日
外国人に対し結城らしい
おもてなしで迎ええでき
る体制を整えて頂きたい
と提案しました。

まち・ひと・しごと創生総合戦略は
市民と共に協働体制で！

市民協働は、今後の地方を担ううえで、
特に重要性を増している



おおはし やすのり
大橋康則 議員

地方活性化は市民協働で
進めましょう！

デマンドタクシー導入の検討は

さまざまな施策を検討していく



ひらつか あきら
平塚 明 議員

県道明野間々田線は整備促進の機運が高まっています。

新公共交通システムについて

問 高齢者などはデマンドタクシーを利用することにより、戸口から戸口までの乗車が可能で外出先が広がる。デマンドタクシーのあり方等について伺いたい。

市の公共交通会議では、公共交通のあり方や公共交通施策の推進に関する事項を総合的に協議する場としての位置付けもしております。今後につきましては、地域公共交通会議の中で、市民アンケートや巡回バス利用者アンケート等の結果を分析し、課題を整理するとともに、さまざまな施策を研究し、比較検討しながら、交通弱者の足をどう確保していくかについて検討を行ってまいりたいと考えております。

市長公室長 ほかの交通手段と合わせた地域の公共交通ネットワーク全体の中で、それぞれの役割を明確にしながら、検討していくことが重要であると考えております。本

新庁舎について

問 窓口など一連の手続きのスピードアップを図り、市民サービスの満足度向上につなげることができるのか。

市長公室長 必要な手続きについて、関連する窓口へ速やかに案内ができるよう、タッチパネル式の発券機システムの導入を検討しております。また、お客様の手続きに係る移動の負担軽減を図る最適な情報の共有化による待ち時間の短縮を図つてまいります。

保健福祉部長 市からの支援といたしまして、地域の単位老人クラブと老人クラブ連合会に対し、「老人クラブ活動事業補助金」を交付しております。平成30年度予算額の内訳は、クラブ数により算定する「老人クラブ補助金1,200千円」及

高齢者への支援について

問 老人クラブへの支援について伺います。

び、連合会の会員数や老人福祉大会の開催に応じて算定する「老人クラブ連合会補助金727千円」でございます。また、各地域の老人クラブに保健師が出向き、健康に関する講話や相談を行う健康相談事業など、健康づくりや介護予防活動の面からの支援も行っています。

県道明野間々田線の整備について

問 地元では整備促進の機運が高まっている。地元の熱意ある要望に対し

て協力体制をお願いしたい。

都市建設部長 実際の工事は県で施工することになります。要望書提出の際などの県との仲介や、地元説明会への協力など、可能な限りのサポートを考えています。



▲県道明野間々田線(大木地区)

水道事業について

問 最近、水道事業の民営化、広域化ということを経営やテレビで見たり聞いたりすることが多くなりましたが、執行部としてはどう認識しているのか。結城市の今後の方針について伺います。

都市建設部長 民営化・広域化についてのうち、民営化についてでございますが、本市でもコスト削減のため検針・徴収業務など請負による一部民間委託は行っております。

しかし新聞やテレビなどで報道されております、使用者の皆さんの不安を募るような、水道法改正による民営化につきましては、安心安全な水を持続的に供給するためといった観点から現在のところ本市の水道事業では、導入する予定はございません。

本市水道事業といたしましては、今後も中長期的に持続可能な水道水の安定供給を目指し、平成28年度に策定したアセットマネジメント、平成30年度に策定いたしました

経営戦略を包括した結城市新水道ビジョン等に基づき、計画的に事業を進めてまいります。

茨城国体の臨時駐車場について

問 臨時駐車場が必要になると思いますが、場所はどこを予定しているのか。何台くらい駐車できるのか伺います。

教育部長 茨城国体の大会期間中における臨時駐車場についてでございますが、想定される最大

駐車台数約570台に対し、鹿窪運動公園内の一般来場者の駐車可能台数は467台となっております、約100台程度の不足が想定されますので、鹿窪運動公園外に臨時駐車場を確保する計画となっております。

現在、臨時駐車場として、結城市民文化センターアクロスの駐車場を計画しておりますが、大会期間中、既にアクロスにおいてコンサートなどが予定されており、利用できない日もあることから、鹿窪運動公園周辺の民間空きス

ペースを利用した臨時駐車場の確保を進めているところでございます。

今後も、臨時駐車場につきましては、来場者の利便性の向上を図るため検討を進めてまいりたいと考えております。

茨城国体に向けたトイレ洋式化について

問 茨城国体会場のトイレ洋式化の現状について。

教育部長 茨城国体では、競技会場としてかなくぼ総合体育館を、選手控室

として第二体育館を、競技補助員控室として武道館をそれぞれ使用する計画となっております。

各施設におけるトイレ洋式化の現状についてでございますが、平成30年10月に和式便器の一部を洋式便器に改修する工事を発注し、12月に完了しております。



▲かなくぼ総合体育館

茨城国体の会場について

臨時駐車場の確保を進めている



あいざわ ひさお
議員 澤久男

城の内館跡の発掘調査について

より詳細な発掘調査を実施していく

結城駅南口について

問 駅を降りた方が気持ちよく使用できるような結城駅北口トイレの管理について伺います。

都市建設部長 清掃管理委託を行っており、毎日9時～16時まで実労6時間に対応しており、連絡橋の床清掃及び南北トイレの清掃を行っている。また、清潔感の向上を図る対策は、清掃は毎日行っており、平成29年度までに、トイレ照明のLED化を完了させた。

しかし築26年が経過し、壁及び床の汚れは目立ってきており、見た目の清潔感が感じられないのが実情であります。

問 結城駅南口にエレベーターがあると自転車の移動もでき、様々な点で便利です。設置した場合の経費について伺います。

都市建設部長 現在の構造上、設置可能場所が限られてしまうのが実情です。エレベーターの設置費用は、機器の費用は1基当たり約2～3千万円

となり、改修工事も必要となり約1億円と予想される。今後の設置は、費用対効果を含め検討していく。

防犯サポートセンター跡について

問 防犯サポートセンター跡の今後の利活用について伺います。

教育部長 今後の利用については、駅前という立地条件を生かし、市のPRや活性化に寄与する利用方法、さらに市民の



▲防犯サポートセンター跡

皆様の多種多様なニーズに対応した利用方法などを総合的に勘案し、その有効活用を図るため関係部署と連携を図り、調査研究を進めてまいります。

旧公民館について

問 2020年度に旧公民館の除却に取り組むことができるのか伺います。

教育部長 市の財政状況や公共施設等適正管理推進事業債の対象期間を勘案したうえで、2020年度以降の早い時期に解体工事が実施できるように検討してまいりたいと考えております。

文化財の保護について

問 城の内館跡の保全を

図るために発掘調査の予算1,200万円が上げられています。その内容について伺います。

教育部長 31年度に、より詳細な発掘調査を実施する計画となっております。試掘調査により確認された鎌倉時代の堀・溝・倉庫跡や、室町時代頃の堀等に沿って掘削を行い、遺構を露出させ、全容を明らかにするとともに、正確な位置を把握すること、詳細な報告書を作成し、遺構を保護する方法を検討していく。



いなば さとこ
稲葉里子 議員

南口にもエレベーターの設置を望みます。

公共投資は選択と集中で投資を 持続可能な財政運営に努める



さとう ひとし 議員
佐藤 仁

財政指標は自治体構造の
血流

財政状況について

問 元利償還金と準元利償還金（一般家庭で言うローン全体に対しての借金の返済額）は？

市長公室長 22年度は約30億円で29年度は約26億円で約4億円の減です。

問 実質公債費比率（一般家庭で言う年収に対してのローンの返済額の割合）は？

市長公室長 19年度約17%から減少に転じ29年度

約10%で9年連続減少している。



問 将来負担額（現在の借金の残高）は？

市長公室長 19年度124%が年々減少し29年度は27・5%です。

問 金額の答弁が無かったので自分で調査したが、

22年度は306億あった借金が28年度末56億減って250億になった。

また、基金や現金の総額は、22年度末56億だったが、28年度末は78億と6年間で22億も基金や現金が増えていく。お金を積むと言う事は、財政状況にとっては貯金が増えると言う事で、プラス側に数字は動く。しかし、住民サービスという観点から捉えると、サービスを維持する事に重点が置かれ、サービスが低下する可能性があると言う事になると思います。



新庁舎建設に関する予算措置は？

市長公室長 事業費総額を約53億4千万円と見込んでおります。財源は市債の借入れを31億円、市庁舎建設事業基金からの繰入れを20億円、一般財

源を2億4千万円と見込んでおります。市債は借入期間を15年、元金据置を3年、返還期間12年で借入れを実施する見込みです。

問 市民の中からこの財政難の時代にとの声があるが、6年間で22億も基金の積み増しし、将来負担額（いわゆる借金）も22年度末で300億あった金額を55億減らしている、新たに31億起債しても、平成25年度末と同じくらいの金額になるので安心できると実感し

ている。
今後の取り組み方針について。

市長 新庁舎建設、小中学校への空調設備設置など、多額の費用を要する事業を実施することから、財政指標の上昇はあるものの、市民ニーズに応え、創意工夫を図り、多様な施策に配慮した財政支出を行い、将来にわたる持続可能な健全な財政運営に努めます。



国保税の子どもに係る均等割の減免は

他自治体の動向を注視していく

駅前商業施設内店舗の撤退について

問 店舗撤退による当市への影響と今後の対応について伺います。

市長公室長 市民活動支援センターや行政部署以外の市社会福祉協議会、子育て広場などの施設に關しましては、本庁舎跡地への移転や他の公共施設への機能集約等を含めた検討を行い、出来るだけ早い時期に駅前分庁舎の今後の在り方や本庁舎の跡地利用の方針を定め

たいと考えております。

国保税の子どもに係る均等割について

問 子どもに対する均等割を減免するためには財源はどのくらい必要なのか伺います。また今後の方針について伺います。

保健福祉部長 本市における子どもに対する均等割額の総額につきまして、対象者1,458人で、約2,400万円となっておりま。市単独での減免は財源等の問題

から厳しい状況ですので、他自治体の動向を注視してまいります。



介護保険料の減免制度について

問 昨年9月の議会で介



平 陽子 議員
たいら ようこ

子どもの均等割は、子育て支援に逆行すると指摘されている。

護保険料の減免について、低所得者に対する減免制度の拡充に向けた検討を進めているとの前向きな答弁をいただきましたので、具体的な減免制度について伺います。介護給

付費準備基金積立金が昨年度は約1億2千万円で今年度も3月補正で9千790万円の積立基金が計上されています。市独自での大幅な減免を要望します。

保健福祉部長 市独自の減免制度につきましては、消費税率改正に伴う軽減

制度の詳細が昨年11月末に明らかにされたことから、今後、近隣自治体の動向を注視しながら、検討を進めてまいりたいと考えております。

中央教育審議会の答申(教員の働き方)について

問 この答申で当市の教職員の働き方の改善になるのか。また、今後どのように取り組んでいくのか伺います。

教育部長 学校以外が担



うべき業務である「登下校に關する対応」「放課後から夜間などにおける見回り、児童生徒が補導されたときの対応」「学校徴収金の徴収・管理」「地域ボランティアとの連絡調整」などの適正化に向け、保護者や地域との連携協力を図りながら、教職員の負担軽減の検討をしていきます。

現庁舎の跡地利用計画について

問 新庁舎ができることにより、現在の本庁舎は市民活動支援センター、社会福祉協議会、子育て広場の移転場所としての活用が考えられるが、本庁舎の今後の利活用について執行部の考えを伺いたい。

市長公室長 新庁舎完成後は、駅前分庁舎に配置される教育委員会及び上下水道関連部署が移転

する計画でございますが、市民活動支援センターや市社会福祉協議会、子育て広場の方針に関しましては、本庁舎跡地への移転や他の公共施設への機能集約を図ること、利便性や公共施設マネジメントの推進に繋がることも考えられます。

今後、本庁舎の利活用を検討するにあたり、状況を総合的に整理したうえで、どのような手法が最適であるか、慎重に判断してまいりたいと考えております。

防災対策について

問 震度計が本庁舎に1つしか設置されていないため、いつも震度が低く発表されている。正確な情報を提供すること、市民が適切な対応をとれるよう少なくとも市内3か所に設置すべきである。

市民生活部長 合併前の市町村ごとに1箇所の震度計が県庁及び気象庁とネットワーク化されており、庁舎移転と同時に移設予定となっております。市独自の震度計の設置は

可能でございますが、現行のシステムに組み入れるためには、国、県等の許認可と高額な費用が必要となりますので、慎重に検討してまいりたい。

都市計画道路3・4・18号線の整備計画について

問 市庁舎移転後の北部市街地活性化のため、本路線の早期完成が望まれる。市長の見解を伺いたい。

市長 都市計画道路3・4・18号線は、市街地

の南側、東側、北側の骨格を形成する幹線道路で、市西側を通る3・4・20号の谷・松木合線の渋滞緩和や通学路の安全確保も図れる重要な路線である。早期事業化に向け、茨城県や関係機関と協議を重ねてまいります。

新庁舎周辺地域の整備計画について

問 駅南中央通りやアクロス通りなどは景観形成上、電線地中化を進めるべきと思いますが、見解を伺いたい。

都市建設部長 災害時ににおける通行の確保など防災面で有効な手段の一つとして考えられます。今後は、関係機関との協議を進めてまいりたい。しかし、整備には多額の費用が見込まれますので、慎重に検討してまいりたい。



▲電柱が並ぶアクロス通り

早期に跡地利用の方向性を示すべき

なるべく早期に計画をまとめられるよう進めていく



おおき さくじ
大木作次 議員

市の顔となる
新庁舎周辺の整備を

地域創生に反映する持続可能な発展を

第6次総合計画策定の推進に努める

新元号の対策について

問 書類や帳簿等事務事業への影響と改元を機に市のアピール等、今後の取り組みについて。

市長公室長 市の基幹系業務システムの改修は順次進めており、5月1日の改元までに円滑に改修が完了するよう進捗管理を徹底してまいります。また、改元と関連付けて市をアピール出来るか国や近隣自治体の動向等を踏まえ検討してまいりたいと考えております。

結城市総合計画策定について

問 第6次総合計画策定のあり方等、今後の取り組みについて。

市長公室長 持続可能な都市の成長のためには、新たなビジョンの設定やそれに伴う拠点開発も必要であり、それらが従前の構想等と相互に連携し、相乗効果を発揮できれば、本市の発展に十分資すると考えます。

市長 今後の取り組みに



ついで、総合計画は、長期ビジョンゆえに、急激な社会情勢の変化等に対応しづらい側面はございますが、平成31年度から2ヶ年での策定を予定している、第6次総合計画におきましては、想定し得るあらゆる条件を整理し、可能な限り計画に反映できるよう努めてまいります。

学校と地域を結ぶ
コミュニティ・スクール
(学校運営協議会制度)
の構築について

問 地域とともにある学校づくりの一層の推進に向けて、現状と今後の取り組みについて。

教育部長 コミュニティ

スクールでは保護者や地域住民等が当事者として学校運営に参画することを通して、学校と地域の連携・協働体制が組織的かつ継続的に確立され「地域とともにある学校

づくり」や「課題解決に向けた取り組み」を効果的に進めることが出来ると考えております。

教育長 社会総掛かりで、地域の子供たちを育てていくことは、ますます重要になると捉えています。

学校と地域がつながることは、教育環境の充実にとどまらず、学校を中心とした地域ネットワークを形成し、地域住民の学びを起点に地域の教育力を向上させるとともに、子供たちの地域への愛着心が育成され、持続可能



ゆもと ふみお
湯本文夫 議員

子どもたちの未来目指した
地域学校協働活動の一体的
推進のまちづくり参画を

委員会活動 レポート

市の仕事は様々な分野にわたっていることから、総務、産業・建設、教育・福祉の3つの常任委員会を設置し、それぞれ分担しながら、専門的な審査と調査を行っています。

●総務委員会



▲新庁舎建設工事現場

総務委員会は、市長・関係部課長の出席を求め、3月8日に開催されました。

初めに、新庁舎建設工事現場の現地調査を行いました。敷地面積15,929.7㎡、庁舎棟5階建て免震構造、附属棟2階建てなどの工事概要及び工事全体スケジュールの説明を受けました。

審査は、予算特別委員会から本委員会の分科会へ付託された平成31年度結城市一般会計予算のうち所管事項分、平成31年度結城市住宅資金等貸付事業特別会計予算の議案2件について行いました。

分科会終了後の委員会では、本委員会に付託された結城市債権管理条例についてなどの議案3件、選任1件、諮問1件の計5件について審査しました。審査の結果、分科会及び委員会に付託された議案7件については、全て原案のとおり可決されました。

産業・建設委員会は、副市長・関係部課長の出席を求め、3月11日に開催されました。審査は、初めに予算特別委員会の分科会を開催し、本委員会へ付託された平成31年度結城市一般会計予算のうち所管事項分、平成31年度下館・結城都市計画事業結城南部第二土地区画整理事業特別会計予算等の特別会計4件、平成31年度結城市水道事業会計予算の6件について行いました。

分科会終了後の委員会では、本委員会に付託された結城蔵美館の設置及び管理に関する条例についてなどの条例関連議案4件、市道路線の認定についてなどのその他の議案3件、計7件について審査しました。審査の結果、分科会及び委員会に付託されました議案13件については、全て原案のとおり可決されました。

●産業・建設委員会



▲審査の様子

●教育・福祉委員会



▲審査の様子

教育・福祉委員会は、市長・教育長・関係部課長の出席を求め、3月12日に開催されました。審査は、初めに予算特別委員会の分科会を開催し、本委員会へ付託された平成31年度結城市一般会計予算のうち所管事項分、平成31年度結城市国民健康保険特別会計予算などの特別会計3件の議案4件について行いました。

分科会終了後の委員会では、本委員会に付託された結城市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例についてなどの条例関連議案4件、結城市教育委員会の委員の選任1件の合計5件、及び後期高齢者の医療費自己負担2割への引き上げに反対する請願1件について行いました。なお、審査の結果、分科会及び委員会に付託されました議案8件、選任1件の合計9件については、全て原案のとおり可決されましたが、請願については、賛成少数をもって不採択と決定しました。

永年勤続議員表彰

平成31年2月27日、結城市議会褒賞内規による永年勤続議員として、勤続15年以上に金子健二議員、秋元昇議員、大木作次議員が、功績を称えられ感謝状が授与されました。



金子 健二
議員



大木 作次
議員



秋元 昇
議員



議会を傍聴 しませんか

受付で住所、氏名などを記入するだけで簡単に傍聴できます。
詳しいことは、議会事務局まで
(0296-32-1111 内線 304・305)

令和元年 第2回定例会のお知らせ

結城市議会 次回定例会の開催予定

6月 13日 本会議（開会）
14日・17日 一般質問
18日・19日・20日 常任委員会
25日 本会議（閉会）

（日程が変更になる場合もあります。）

朗読

ゆうき市議会だよりは、目の不自由な方向けに、ボランティアグループ「ボイスフレンド」の皆さんのご協力をいただき、毎号、CD版の発行や対面朗読を行っています。

ご希望をされる方につきましては、社会福祉協議会（☎33・0225）までお問い合わせください。

今期 結城市議会の活動報告

（平成27年4月30日～平成31年4月29日）

●「本会議の生中継」

平成28年第1回定例会から開かれた議会を目指し、ケーブルテレビにて本会議を生中継しています。

●「新庁舎建設及び現庁舎跡地利用計画に関する調査特別委員会の設置」

平成28年第1回定例会で設置され平成29年第1回定例会で市議会の意見を報告しました。

●「紬議会の開催」

平成29年第1回定例会において、結城紬の更なる振興を推進するため、議員全員が着物を着用し、本会議を行う紬議会が6年ぶりに復活しました。

●「一般質問に一問一答方式の導入」

従来からの一括質問一括答弁方式に加え、平成30年第3回定例会から一問一答方式で一般質問が行えるようになりました。

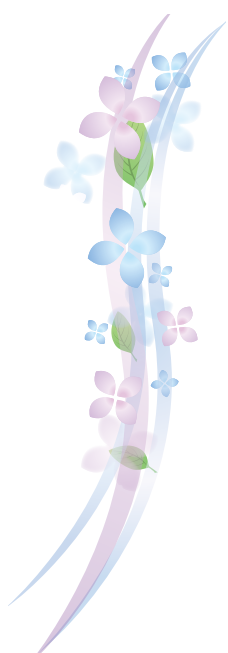


◆編集後記◆

平成最後の市議会が紬議会として開会されました。伝統産業として有名な結城紬は、国の重要無形文化財であり、ユネスコ無形文化遺産にも登録されています。本市を代表する結城紬を広くPRしていくため、議員全員が結城紬を着て、本会議に臨みました。

さて、平成30年を振り返りますとオウムサリン事件、郵政民営化、拉致被害者5人の帰国、東日本大震災（結城市でも被害）、関東・東北豪雨（結城市でも被害）、西日本豪雨、熊本地震、北海道胆振地震等もあり、自然災害の恐ろしさを身近に感じました。いよいよ【令和】が始まり、結城市議会も新たな体制で新しい時代を進んで行きます。災害のない安心安全な結城市を目指して頑張ってまいります。

（情報推進委員）



◆表紙によせて◆

表紙は開会初日の2月27日に行われた紬議会です。

議員全員で紬の着物を身に着け、平成最後の定例会を紬議会で締めくくりました。